

# 国際学術無線LANローミング基盤

「eduroam (エデュローム)」の利用について

2016年11月

伊勢原情報システム部

# 何ができるか？

- 国内・外で、訪問先機関の無線LANが利用できます。
- 本学で使用しているID(教職員番号・学生証番号)とパスワードで、利用可能です。
- 接続設定が共通なので、訪問先ごとに設定を変更する必要がありません。

(共通ESSID: eduroam)

- WindowsやMacはもちろんのこと、iOSやAndroidなど様々な端末に対応しています。
- ユーザ認証および通信内容の高いセキュリティが確保できます。

# どこで使えるか？

- eduroam に参加している機関のアクセスポイントで利用できます。
- 以下のWebサイトに参加国・機関リストやマップがあります。

<http://eduroam.jp/>

- 国内159機関(39都道府県)、世界約80か国(地域)がeduroamに参加しています。

(2016年10月現在)

# 利用方法

- 共通ESSID eduroam を選択します。
- IDは、以下の形式で入力します。  
教職員番号または学生証番号 **@u-tokai.ac.jp**
- パスワードは、**T365のパスワード**を入力します。
- 訪問先機関のセキュリティについては、各機関によって異なる場合があります。利用する前に、訪問先機関のホームページ等でご確認ください。
- <http://eduroam.jp/> の 利用者向け情報 欄に  
Windows、MacOS、iOS、Android の接続方法が掲載されています。

# 学内の対応状況

- 1月1日より 訪問先機関でのeduroamの利用を開始しました。
- 学内で展開する eduroam は、学外からの訪問者が利用するためのサービスであり直接学内のシステムにはアクセスできないセキュリティになっています。
- 湘南校舎では、訪問者(研究者等)のためにeduroamが利用できる場所を開放済み。
- 伊勢原校舎では、将来計画している学部系ネットワーク更新時より、学外からの訪問者(研究者等)に、eduroamを開放する予定。